



# すみれ組だより 10月号

平成30年10月19日 ことり保育園 担当 鈴木

木々の葉の色が変わり始め、秋の訪れも目で見て分かるようになってきました。

先日はお忙しい中運動会にご参加いただきありがとうございます。おゆうぎやかけ、この練習を始めた頃は、種目毎の整列に戸惑う姿も見られましたが、「〇〇君の隣は僕で、僕の隣は△△ちゃんだよ」などと声を掛け合い自然とクラスの中で協力する姿が見られるようになりました。かけ、こで負けてしまったときは「次は頑張る」という声も聞かれ、当日だけでなく、日々の練習を通して成長を感じることが出来ました。

散歩へ行った時のことです。トンボが2匹連なって飛んでいたのを見て「トンボがおんぶしてる」という声が聞こえてきました。すると「こっちはお母、こかた」  
「あのトンボは一人(一匹)だ」と子ども達。  
「トンボは一匹、二匹って数えるんだよ」と保育者が伝えると、「じゃあバッタは？」と数え方の興味が出てきたようでした。

その後、テントウムシやチョウチョも見つけ、帰る時間になると「虫は捕まえないよ。命だから大切に！見るだけだよ」と言う子が。その声に「そうだよ、命は一つだよ。」「大切なんだよね」とみんなを系内得して園へ戻りました。全ての命を大切にしようとする心が育つべくあり、温かくなりました。

また、最近給食の時間に左手の食器をおさしたり、箸の持ち方に気を付けるよう働き掛けています。お弁当箱に残ったごはん粒一つひとつも「自分で」と頑張っているのが、お忙しいと思いますが、持ち帰ったお弁当箱を一系者に確認していただけただけなら嬉しいです。これからも子ども達の興味や「出来た」という喜びを大切に保育していきたいと思っています。

